三月の俳句

花の頃想ふ桜の長き土手　　　　　　　　　鶴　子

湖凪ぎて夕陽きらきら春日和

春浅し妖怪さんと写真撮る

手作りの雛の面差し壇飾る　　　　　　　　文　子

床の間やくの字つの字に花菜乱

愛犬も見送る柩春愁